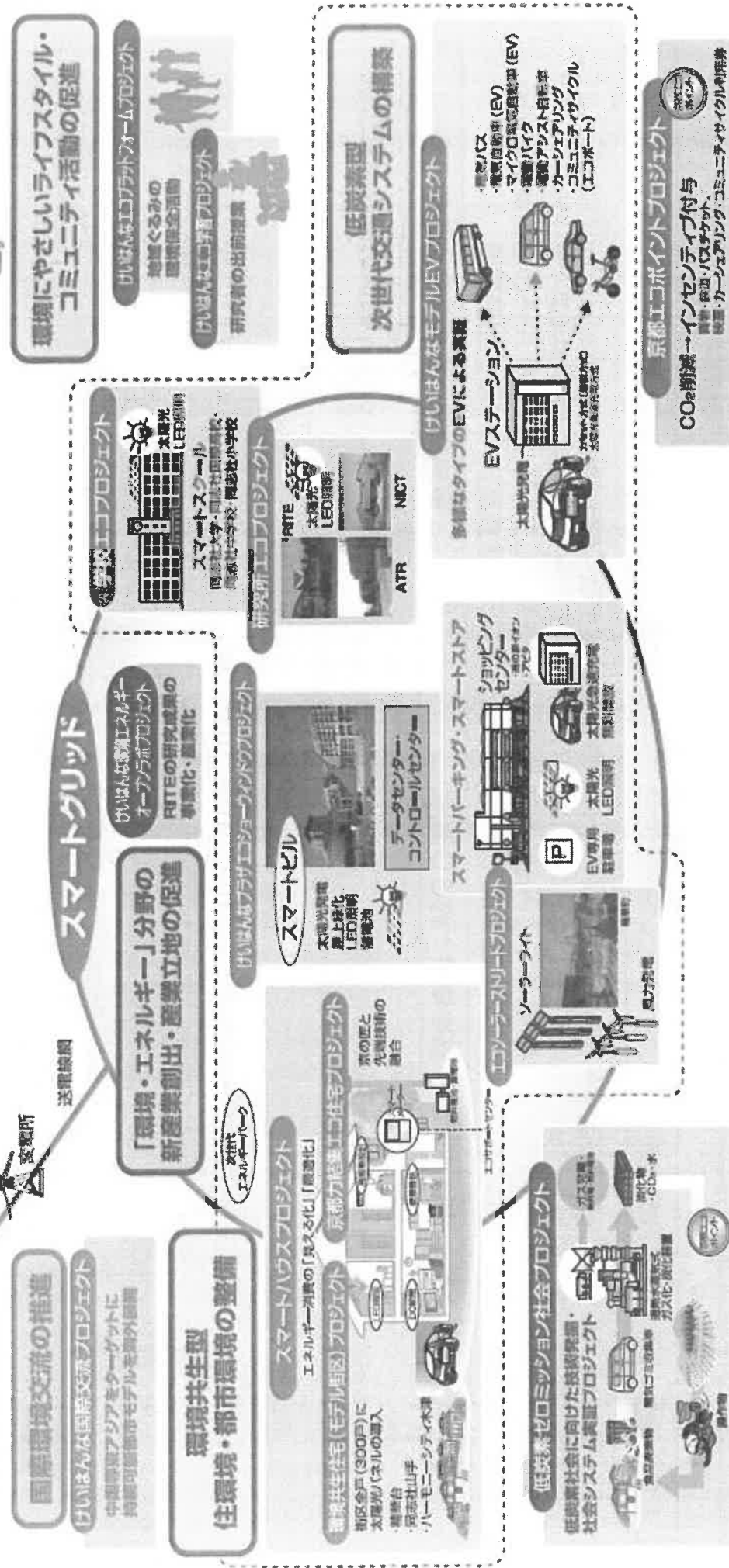


「エコ」をけいはんな学研都市の「文化」にする！ 「けいはんなエコシティ推進プラン」 —けいはんな学研都市まるごとエコプロジェクト—



けいはんなエコシティ次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト

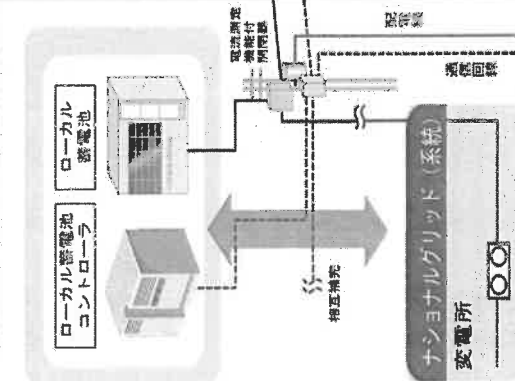
(1) 趣 旨

経済産業省「次世代エネルギー・社会システム実証地域」に選定！（全国4地域）

- 政府の新成長戦略の柱である「日本版スマートグリッド」の構築に向けて、実証事業に先駆的に取り組む地域として、全国20地域の提案応募に対し、京都府（けいはんな学研都市）、横浜市、豊田市、北九州市が選定（H22年4月）
- 現在、産学公住の連携のもとで、学研都市で生み出される先進技術等を活用しながら、エネルギーの地産地消による「新都市開発型」のけいはんなエコシティモデル”のスマートコミュニティの構築に向けた取組を推進

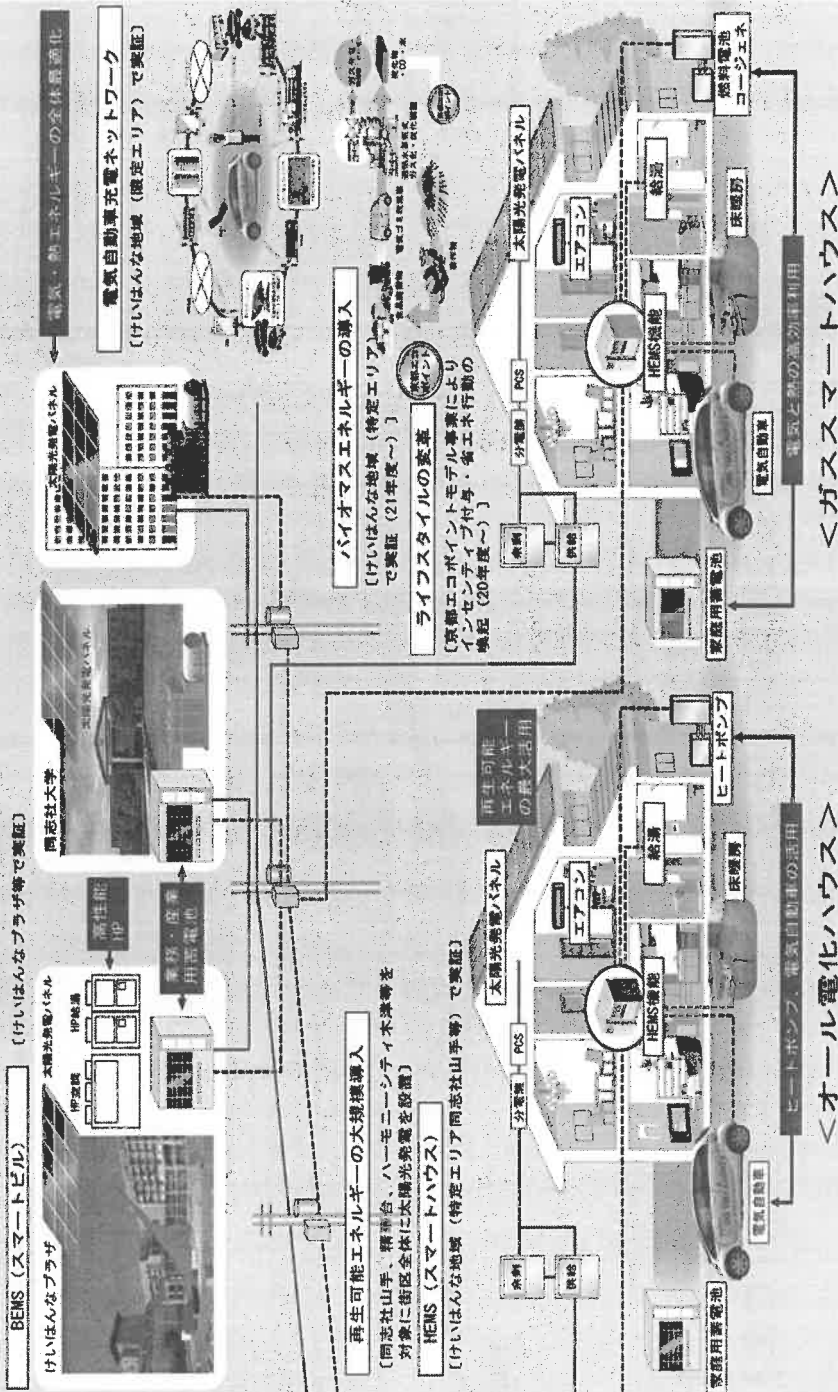
(2) 概 要

地域ナノグリッド(地域EMS)
〔地域ナノグリッドの構築と系統との連携〕



総事業費：約60億円

事業期間：平成22～26年度



電気のかしこい使い方
プログラム(H24.7～)
〈2市1町・
約700軒参加〉

＜オール電化ハウス＞

＜ガススマートハウス＞

1. 実証プロジェクト全体の状況

(3) 実証プロジェクトの全体像

- 住宅 (HEMS)、ビル (BEMS)、EV (EV管理センター) などのデータを収集し、CEMSが地域のエネルギー使用状況を把握
- 電力系統側 (系統模擬システム) とも連携し、地域全体としての最適なエネルギー利用計画を立案し、各EMSに電力使用目標値への追従を要請
- これにより、地域での再生可能エネルギーの利用最大化、負荷抑制等、系統側と連携して地域エネルギー利用の効率化や電力需給の安定化を目指す

